

東京医科大学 学校推薦型選抜

小論文

小論文1 (日本語の課題)

【問題】

下記の課題文に登場する「私」は、新生児仮死の後遺症で脳性まひになりました。課題文には、「私」が小学生のときに参加した「障害児」^(注1)のリハビリを目的とする約1週間の集団キャンプでの出来事が描かれています。

課題文を読んで、あなたはここでのリハビリにどのような問題点があると考えましたか？まず、【場面A】の「私とトレーナーの関係」と【場面B】の「私と四つん這いの少年の関係」がどのようなものを説明してください。その上で、ここでのリハビリの問題点を述べてください。(600字以内)

(注1) 問題文と課題文にある「障害児」という表現は原文での表現を踏襲している。

【課題文】 省略

解説

まず【問題】が最初に約250字程度で簡潔に設定されている。この問題の前半内容では課題文の内容概略を記し、後半内容ではその課題文のどのような点に問題設定しているのかという事が、かなり明確に分かり易く説かれ、解答記述していく上での論点をも、指示されている。今回の解答のカギはこの【問題】をいかに正確に読み取り、理解することができるか、その指示に従って小論文の記述を進めていけるかという点が重要である。

【課題文】全容については、約300字程度の短文中に記されているのですから、その内容を読解し前提内容の把握とでもいうような準備段階を熟しておくことが次の段階の理解を容易にすることになる。今回の課題文の全容の要約的な内容とも言える。

— 【場面A】 —

☆「私とトレーナーの関係」についての要約的な説明をすること。

約2000字程度の文章であるが、[中略]が3か所入っていることと、会話文が混在していることから、内容の誤読には注意しながら要求されている説明文を簡潔にまとめること。

— 【場面B】 —

☆「私と四つん這いの少年の関係」についての要約的な説明をすること。約800字程度の短文中に記されている私と四つん這いの少年の交流関係についていかに簡潔にまとめるかを、限られた時間と文字数の制限内で実施することは思いの外日頃書き慣れていないと、大変な作業かもしれない。

— 【場面C】 —

☆「私とトレーナー」「私と四つん這いの少年」という人間関係等を考察しながら、「ここでのリハビリの問題点」について、「私」という人物の視点や眼を軸として、受験生各人の考えを論述することが望まれるところである。

☆段落構成や、段落内容の展開、問われている課題について明確に答えられているか、各人の日常的な論理的思考力と、医師の素養等が図られていると考えられる問題内容である。

小論文 2 (英語の課題)

以下の文章を 300 字程度の日本語で要約しなさい。さらに、質問に 150 語以上の英語で答えなさい。

【課題文】

Denmark has introduced a fat tax in order to fight obesity and to combat heart disease and diabetes. The government also wants to prolong the average life span and improve the health of the Danish people. Butter, potato chips, and ground meat are among the products that are to be taxed.

After one or two years, the government plans to see how the tax worked and if it has any effect on people's eating habits. Denmark already has tax on sugar and ice cream.

Although only 10% of the Danish population is overweight, the country's food experts think that saturated fat may be responsible for higher death rates. They also argue that the tax should not be limited to fats alone, because people might switch to other unhealthy foods with sugar and salt in them.

Even if Denmark reduces the amount of saturated fats that people consume only by a small fraction, it will be a signal to other countries that are watching closely, especially the United States where almost a third of the population is considered to be obese.

Other European countries are planning similar measures. Finland is working on a fat tax, based on the Danish model. Hungary has recently started to tax food that has a high share of salt, sugar and caffeine.

Denmark's fat tax is being opposed by the country's food industry, especially the meat producers. If people reduce the amount of meat in their diet it may mean that farmer's earnings will go down. Denmark is one of the world's largest bacon and pork producers. On the other hand, the new measure is expected to bring the government about \$400 million additional tax dollars a year.

Question:

Do you think we should have a fat tax in Japan? Give 2 reasons to support your opinion.

【英文対訳】

デンマークは、肥満と闘うために、また心臓病や糖尿病と闘うために脂肪税を導入しました。政府はまた、デンマーク国民の平均寿命を延ばし、健康状態を改善したいと考えています。バター、ポテトチップス、ひき肉なども課税対象となります。

政府は 1、2 年後に、この税がどのように機能し、人々の食生活に影響を与えるかどうかを調査することを予定しています。デンマークではすでに砂糖とアイスクリームに税金が課されています。

デンマークの人口のわずか 10%だけが過体重に過ぎませんが、この国の食品専門家は、飽和脂肪が死亡率の上昇の原因である可能性があると考えています。彼らはまた、人々が砂糖や塩を含む他の不健康な食品に切り替える可能性があるため、課税対象を脂肪だけに限定すべきではないと主張しています。

たとえデンマークが人々の飽和脂肪の摂取量をごく一部しか減らさなかったとしても、それは注意深く監視している他の国々、特に人口のほぼ 3 分の 1 が肥満であると考えられているアメリカへのシグナルとなるでしょう。

他の欧州諸国も同様の措置を計画しています。フィンランドはデンマークのモデルに基づいて脂肪税に取り組んでいます。ハンガリーは最近、塩分、砂糖、カフェインを多く含む食品に課税し始めました。

デンマークの脂肪税は、同国の食品業界、特に食肉生産者から反対されています。人々が食事の肉の量を減らすと、農家の収入が減少する可能性があります。デンマークは世界最大のベーコンと豚肉の生産国の一つです。一方、その新たな措置により、政府は年間約 4 億ドルの追加税金を得ることが見込まれています。

質問：

日本でも脂肪税を導入すべきだと思いますか？ あなたの意見を支持する理由を 2 つ挙げてください。

【要約への手がかり】

1st par. ①文がデンマーク政府の実行部分であり、②文がその目的に当たります。

「デンマーク政府は、国民の平均寿命を延ばし、健康状態の改善を目指して脂肪税を導入した」

2nd par. ①文がキーセンテンスと言えます。

「1, 2年後に、この税がどのように機能し、国民の食生活に与えるかどうかを調査する予定である」

3rd par. ①文、②文がキーセンテンスと言えます。

「過体重の人は人口の 10%に過ぎないが、食品専門家たちは飽和脂肪が死亡率上昇の原因の可能性があると見ている。が、課税対象を脂肪に限定すべきではないとしている」

4th par. 本文後半：

「デンマークでの効果が小さなものだったとしても、米国への警告となろう」

5th par. ①文がキーセンテンスと言えます。②文、③文は具体例。

「他の欧州諸国も同様の措置を計画している」

6th par. ①文及び②文がキーセンテンスと言えます。

「デンマークの脂肪税は、農家の収入を減少する可能性があり、同国の食品業界、特に食肉生産者から反対されている。が、その脂肪税により追加税金を得ることが見込まれる」

【要約例】

デンマーク政府は、国民の平均寿命を延ばし、健康状態の改善を目指して脂肪税を導入した。1, 2年後に、この税がどのように機能し、国民の食生活に与えるかどうかを調査する予定である。過体重の人は人口の 10%に過ぎないが、食品専門家たちは飽和脂肪が死亡率上昇の原因の可能性があると見ている。が、課税対象を脂肪に限定すべきではないとしている。デンマークでの効果が小さなものだったとしても、米国への警告となろう。他の欧州諸国も同様の措置を計画している。デンマークの脂肪税は、農家の収入を減少する可能性があり、同国の食品業界、特に食肉生産者から反対されている。しかし、その脂肪税により追加税金を得ることが見込まれる。

(298 字)

質問解答へ：

日本でも脂肪税を導入すべきだと思いますか？ あなたの意見を支持する理由を 2 つ挙げてください。

【質問解答への手がかり】

最初にやって欲しいことは、あなたは「脂肪税の日本への導入を行うべきか否かを決めることです」
そのためには、日本人の肥満や心臓病、糖尿病といった生活習慣病に苦しむ人たちの情報を持っていると書きやすいですね。皆さんはどちらにしましたか？

参考になる資料を上げておきます。

肥満の人は**男性 33.0%、女性 22.3%**。やせの人は男性 3.9%、女性 11.5% (20 歳代女性 20.7%)。
65 歳以上の低栄養の人は男性 12.4%、女性 20.7% 令和 1 年 (2019)「国民健康・栄養調査」より



厚生労働省の「国民健康・栄養調査」によれば、日本人男性の32.2%、女性の21.9%が肥満（BMI25以上）である。男性は30代以上に肥満の人が多く、60代を超えると減少傾向にある。

一方で女性は50代まで平均以下だが、60代以上になると肥満の人が多くなる傾向がある。

なお、BMIは体重／身長²の2乗。

公開：2020.01.14

出典：厚生労働省「国民健康・栄養調査」

世界189か国の肥満率ランキングでは日本は……

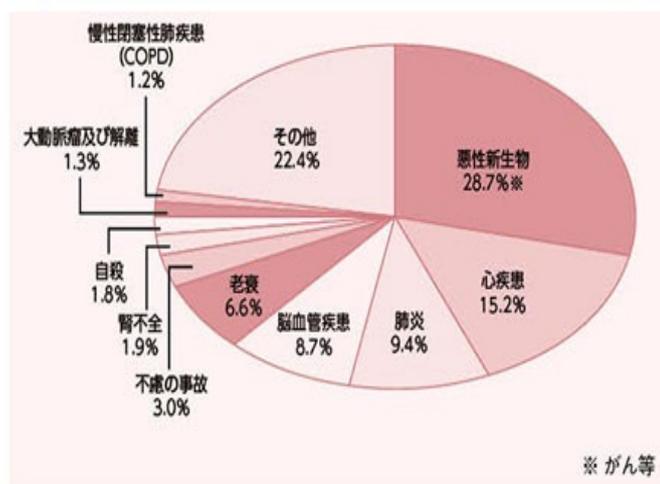
世界ランク1位はナウルの71.1%、2位はクック諸島の64.1%、3位はトンガの59.6%です。日本は4.5%でランキングでは166位に位置しています。

このランキングは世界保健機関(WHO)のデータをもとに作成しました。対象国が異なるランキングに、ワールドファクトブック(CIA)版と経済協力開発機構(OECD)版があります。合わせて参考して下さい。

世界ランク1位はナウルの71.1%、2位はクック諸島の64.1%、3位はトンガの59.6%です。

日本は4.5%でランキングでは166位に位置しています。日本ではダイエットブームが長く続きますが、世界で見るとかなり下位に位置しています。

図表2 死因別死亡割合



出典：厚生労働省「平成27年人口動態統計(確定数2015年)」

生活習慣が発症に深く関わる病気群を「生活習慣病」と言います。現在、高齢化の進展を背景に日本人の死亡者数の約6割を占めています。また、日本において糖尿病は、有病者は約1,000万人、その予備群も約1,000万人いるとされ、今や「国民病」と言われるほどです。本特集では、生活習慣病の予防について、その必要性と取り組み事例を「運動」と「食事」の分野からクローズアップします。

<Step1> 数字で見る日本人の健康状態

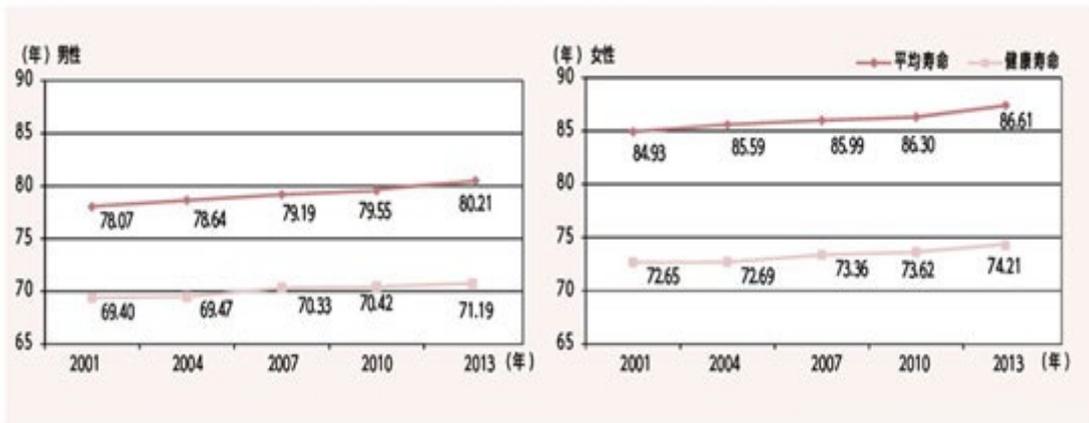
生活習慣病は一人ひとりが考え、予防に取り組まなければならない問題です。

平均寿命と健康寿命の差をどう埋めるか

昨年7月に「平成28年簡易生命表」が公表され、日本人の平均寿命は男性で80.98年、女性で87.14年と過去最高を更新しました。

現在、日本人の平均寿命は世界一の水準です。しかし、日常生活に制限のない期間を指す「健康寿命」と、平均寿命との差は男性で約9年、女性で約12年あります(図表1)。

図表1 平均寿命と健康寿命の推移



出典：平均寿命は、2001、2004、2007、2013年は厚生労働省「簡易生命表」、2010年は「完全生命表」
健康寿命は、厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」

この差＝期間は生活に制限のある、生活習慣病などにより健康ではない状態で過ごしていることとなります。この差を埋め、健康で長く過ごすには、生活習慣病の予防に努めることが大切です。

生活習慣病とは、食事・運動・喫煙・飲酒・ストレスなどの生活習慣が発症・進行に関与する疾患群のことを言います。日本人の三大死因であるがん・脳血管疾患・心疾患はもちろん、脳血管疾患・心疾患の危険因子となる動脈硬化症・糖尿病・高血圧症・脂質異常症などを含んでいます。

平均寿命の伸びとともに、疾病全体に占める生活習慣病の割合が増加し、現在、死因の約6割に達しています（図表2）。生活習慣病による死亡を減らすことも急務です。

【資料：厚生労働省】

講評

問題の解答形式が変わりました。昨年(2023年度)までは要約、意見のいずれも100語程度の英語で答えなさい、だったのが、今年(2024年度)の問題は、要約を300字程度の日本語で、質問に対する答えを150語以上の英語で答えなさい、となりました。今回の解答方式及び記載文字数の変更は、受験生に大きな負担にはならなかったと考えられます。

内容は、国民の健康を考えて、肥満からくる心臓病や糖尿病減らし国民の平均寿命を延ばし健康状態を改善しようとするデンマーク政府が「脂肪税」を採用しようという話題でした。diabetes や ground, saturated fat の語注もついており、受験生にとっては読みやすい平易な英文だったと言えます。各パラグラフもポイントになる英文が拾い上げやすく、要約は300字程度の日本語でという要求でしたので、まとめやすかったと言えます。要約例も298字で提示しています。

質問に対しては、日本に脂肪税を採用すべきか否かという問でしたので、受験生としては「採用すべき」という答えと、「採用すべきではない」という答えのいずれでも書ける内容です。したがって、受験生の皆さんがどちらの立場で書くかで理由づけも変わります。そこで、肥満度や生活習慣病の罹患状況を示す、厚生労働省やWHOからの資料を添付しました。その資料の読み取りで理由付けをどう描くかが決まってきます。因みに肥満率は、日本は189か国中166位です。



メルマガ登録（無料）またはLINE公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！
メルマガ登録は左のQRコードから、LINE友達登録は右のQRコードから行えます。



渋谷校

☎ 0120-142-760

受付9時～22時（日曜日のみ19時まで）

東京都渋谷区桜丘町6-2

名古屋校

☎ 0120-148-959

受付9時～22時（日曜日のみ19時まで）

名古屋市中村区名駅2-41-5
CK20名駅前ビル2F

大阪校

☎ 0120-142-767

受付9時～22時（日曜日のみ19時まで）

大阪府吹田市広芝町4-34
江坂第1ビル3F